

経営比較分析表（令和6年度決算）

兵庫県高砂市 高砂市民病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	100床以上～200床未満	自治体職員
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	21	対象	ド透訓	救 臨 地 輪
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
86,511	26,705	非該当	非該当	10：1

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

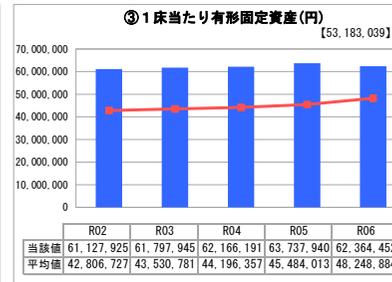
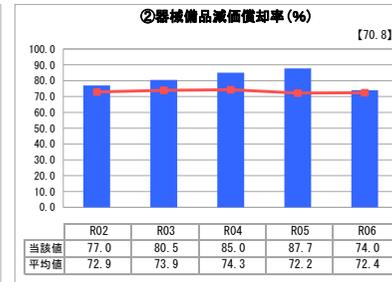
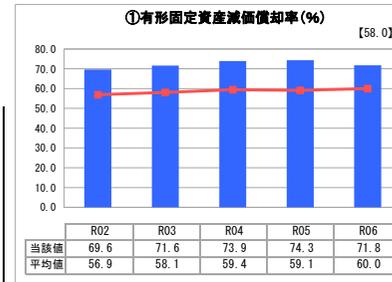
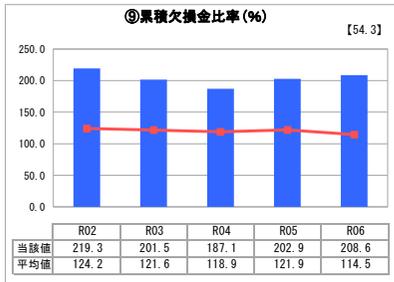
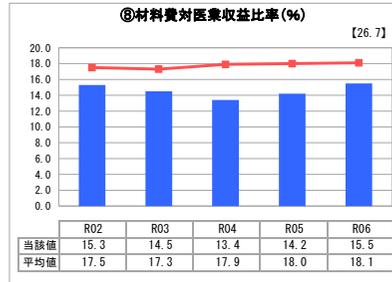
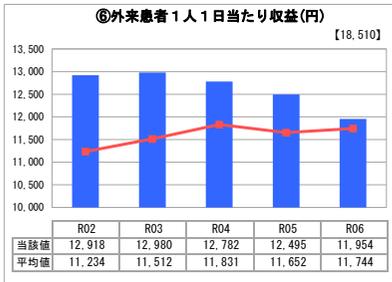
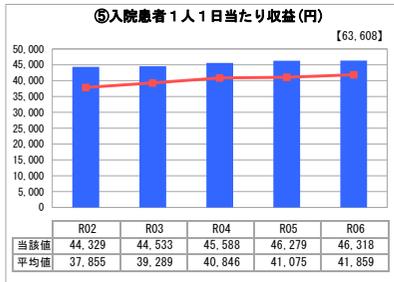
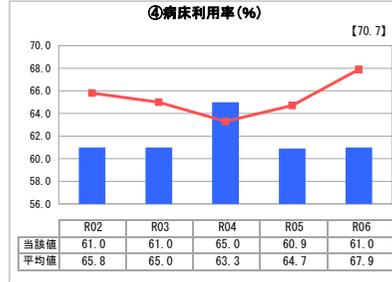
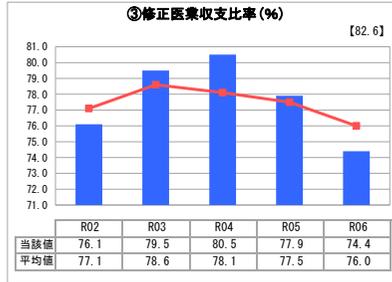
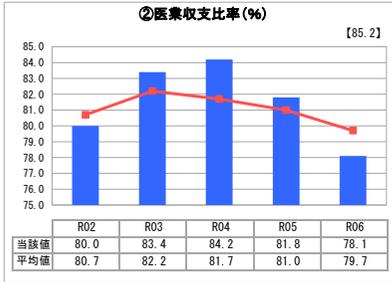
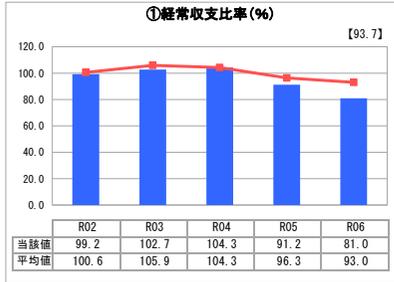
※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
199	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	199
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般+療養）
149	-	149

グラフ凡例

- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）
- 【】 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況

経営強化に係る主な取組（直近の実施時期）

機能分化・連携強化 (従来の形態・ネットワーク化を含む)	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-
年度	年度	年度

I 地域において担っている役割

急性期医療を担いつつ、回復期医療（地域包括ケア病棟）、慢性期（維持透析）、ターミナル医療（緩和ケア病棟）も展開できる機能を有することで圏域での役割を果たしている。
超高齢社会を迎えるにあたり、地域包括ケアシステムにおける地域の核病院として、「医療分野」だけでなく「介護分野」との橋渡しを担うことで、より地域に密着した医療を展開している。
また、医療ニーズが高まっている在宅医療に対応するため、訪問診療を開始し、在宅医療の充実を図っており、「面倒見のいい病院」をコンセプトとして、市民の皆さまのための医療を実践していく。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

地域包括ケア病棟の効率的な運営（在宅養患者の入院受入・急性期病棟からの転棟・レスパイト入院等）、救急搬送の受け入れ増や紹介患者の受け入れ増、市の集団健（検）診受診など収益アップを目的に取り組んでいる。
経常収支比率、医業収支比率共に100%を下回っており、主な要因としては、医師の確保が困難で医師数が減少していることで、収益が悪化している。
また、職員給与費対医業収益比率についても人事院勧告反映による人員増があり、前年度より悪化している。

2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率、器械備品減価償却率が示すように、保有資産の使用年数が法定耐用年数に近づいており、老朽化が進んでいる。
令和11年度に地方公営企業法上の耐用年数39年を迎えるにあたり、病院の建替えについて、市民の代表である市議会においても議論を重ねているところである。

全体総括

令和6年度は、医師数が減少している中、令和5年度と同程度の入院収益を維持し、外来収益については整形外科、眼科の増収が主な要因となり、前年度比較では2,931万円の増収が図れている。
しかしながら、新型コロナウイルス感染症対策に係る補助金がなくなった影響もあり、純損失額が約2億2,200万円となり、累積欠損金比率が悪化している。
今後の病院経営については、令和6年3月に策定した「高砂市民病院経営強化プラン」に沿った形で経営改善に努める。特に医師確保を最重要課題として、将来的に持続可能な経営基盤の確立に向けて取り組む。
設備、機械備品においては、修繕、更新費用が増加していくことが考えられるため、耐用年数を踏まえた計画的な更新を行う。

※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。